

『設計・生産・マネジメントの品質向上で利益UP!』

～あらゆる品質を向上させるデータ解析技術～

≪主催≫和歌山大学

≪共催≫MOBIO（ものづくりビジネスセンター大阪）

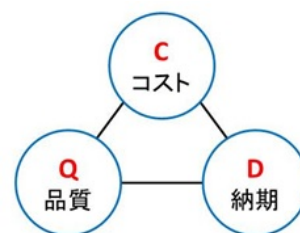
商品を製造する際に、設計時の目標から外れて品質に「ばらつき」が生じたことはありませんか？例えば、工場内の抜き取り検査では想定通りに動作していたのに納品後に不具合を起こしたとか、夏は不良率が低かったけど冬は不良率が高くなったとか……、このように条件の変化で品質がよくなったり悪くなったりした経験があると思います。これらは「ばらつき」の影響を低減する手法「タグチメソッド」で対策が可能です。「タグチメソッド」はあらゆる品質を向上させるデータ解析技術です。

「ばらつき」を改善すれば品質が安定し、手直し、クレーム、検査を削減し、さらには部品コストを下げ、その結果、劇的に利益を向上させる可能性があります。また最も怖い「クレームもなく静かにお客様が離れてしまうこと」を防ぐためにも、「ばらつき」への対応は必要です。あなたの会社の商品は様々な客先での使用方法、環境のばらつきに対応出来ているでしょうか？

「ばらつき」への対策は、商品、生産工程、サービスなどにも有効です。今回は、「タグチメソッド」を利用した複数の事例を紹介し、「ばらつき」へ対応するために、どのようなデータを取得し、どのように解析するのかについて解説します。

また、講師である鈴木講師は、企業在籍時に生産、開発、品質の現場を経験しており、信頼性技術を研究し、学位を取得しました。特に品質工学（タグチメソッド、MTシステム）を用いた品質向上や効率化を得意としています。このような手法に興味をお持ちの企業様や「ばらつき」に苦勞した経験をお持ちの企業様もぜひご参加ください。

【講師】和歌山大学 システム工学部
講師：鈴木 新（すずき あらた）



品質と納期がコストを支える

【日時】平成28年11月11日（金）

〈セミナー〉18:30～19:30

〈交流会〉19:40～

【場所】クリエイション・コア東大阪 南館3階 技術交流室A

【募集人数】40名程度（先着順・要事前申込、募集締切：定員に達し次第、受付終了）

【対象】ものづくり中小企業、支援機関ほか

【参加費】無料（交流会参加者は1,000円/人）

【申込み・問合せ】MOBIO（ものづくりビジネスセンター大阪） 担当：中川、椿野

TEL：06-6748-1054 FAX：06-6748-1062

E-mail：sangaku@gbox.pref.osaka.lg.jp